

編集後記

今回は、推進技術の次なる進展への心構え第3弾、海外進出が舞台だ。

躍動するアジア、経済成長著しいベトナム、インドネシアなどのメガ都市は正に混沌の世界だ。静寂は深夜の一時のみ、日中は全ての都市内道路で、人、バイク、車、大型バスなどが喧騒を演じる。街全体が熱を帯びている。日本人観光客など、こんな街中を一時間でも歩けば、汗だく、ぐったりだ。だが、それを心地よいと感じる若者も多いかもしれない。

今、日本の政府開発援助（ODA）の主流はこれらの国々に注がれる。その主要事業メニューが水インフラ整備だ。ホーチミンやハノイ、あるいはジャカルタなどでは、今でもフランス、オランダ統治時代の置き土産的な排水基盤でしかない。未処理汚水の排出、滞留による環境、衛生状況の悪化はもとより、雨期のスコールによる市街地浸水も常態化している。今後の経済発展での足枷、ブレーキとなるのは自明だ。当国の行政トップもこれを危惧する。日本人観光客の度肝を抜く交通渋滞の道路下に、大きな管路を深く敷設すること自体、最高級の至難だ。だが今、彼らはそこに福音を見出した。長距離も厭わず、自在にカーブできる世

界に冠たる我が国の推進技術だ。これで、彼らは事業を着実に実施する覚悟と自信が持てるようになった。

だからと言って、日本の現在の推進技術をダイレクトに輸出することは考えものだ。例えば、今から30年ほど前、台湾が日本の推進技術を求めた際、日本の推進関連企業は、個々の経営事情や器材の保有状況から、単発的に台湾側へ保有機械を売り渡した。残念ながら、台湾には今でもその後遺症と見られる現象が見られる。その一例が、小口径管推進で、ケーシング立坑径はどんな施工条件でも2,000mmのみ、従って管長は1mに限定される。

東南アジア諸国に対しては、“郷に入りては、郷に従え”，推進技術のスムーズな現地化が絶対条件だ。その視点から、日本の推進技術関連の現規格、基準を点検すれば、不合理、非効率なものも多い。推進管一つとっても、管長2.43mの根拠と合理性、不必要な呼び径の細分化などその典型だ。また、口径800mm以上で作業員の管内作業を是とすることも、長距離推進を前提とする当地では課題だ。日本での実情を踏まえ、彼らが受け入れ、自らの基準とできるものを相互協力で築くべきだ。こ

れてこそ、本来の技術援助、移転となるはずだ。

また、日本製の最高仕様の掘進機を輸出し、当地のオペはじめ施工管理技術者をOJTで懇切丁寧な指導、育成するだけで、事足りるとはならぬ。優れた推進工事には、高品質の推進管が不可欠だ。これを一々日本から運ぶわけには行かぬ。推進施工管理技術と同時に推進管の製造技術移転も必要だ。当然、滑材や裏込め材、推進関連器材、測量機器などの製作、製造も当地で賄わなければならない。さらには、掘進機のメンテナンス体制の整備や推進技術に精通した設計コンサルの育成も必要だ。推進工事一つとってもその技術体系の裾野は実に広い。この全体をカバーし、初めて日本の推進技術海外進出・移転となる。肝に銘ずべし。

郷に入りては…に関し、更に心配事がある。当地の商取引習慣や国民感情に絡んだ難題をカバーする事業支援コンサルと密接な提携を組むことだ。もう一つ、地元の政治勢力や裏勢力と適切な距離を保てるかも、現地コンサルの顔と腕だ。転ばぬ先に用意と用心を！

（編集委員長 石川和秀）

No-Dig Today

No.86 2014 Jan. 平成26年1月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：安中徳二

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料（税込み）

1冊 1,575円（本体1,500円）〒400円

1ヵ年（4冊）6,300円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会にて選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2014 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。